

流体制御の明日を開く

OKM

635N

テフロン® バタフライバルブ

TEFLON BUTTERFLY VALVE

TEFLON BUTTERFLY VALVE



注意

本製品は外国為替および外国貿易管理法に定める戦略物資に該当するため、輸出する場合には、同法および必要により米国等の輸出関連法規に基づく輸出許可が必要です。

OKUMURA ENGINEERING corp.

耐薬品性・シール性にすぐれた、 医薬・食品・産業用バタフライバルブ。



酸・アルカリ・溶剤などを扱う医薬・食品・産業用配管では、バルブにも一層の耐食性、耐薬品性、シール性が求められます。

OKMのテフロン®バタフライバルブは、流体が接触する部分にテフロンフッ化樹脂PTFE、PFAを採用。医薬・食品・ケミカルからエレクトロニクス用純水装置まで、多彩な分野で安定した性能を発揮します。

TEFLON BUTTERFLY VALVE

◆高い耐食性・耐久性

テフロン® (PTFE・PFA)ならではの高い耐食性と、流体の付着を防止する性質は、強酸やガス、食品などの流体に最適です。さらに流体の滞留を防ぐ独自の内部構造により、一層の耐久性と清潔さを確保しています。

◆新機軸の弁体シール構造採用

弁本体にバックアップラバーを装着。ラバーの圧縮反力により、弁体の外周先端部がボディシールに圧着されます。さらに、気密性を高めるため、ボディシール中心部を微妙に内側へ隆起。弁体をピッタリとおさめることで、シール性を完全にしています。

◆高い耐熱性・耐圧性で苛酷な環境もクリア

150℃、1.0MPaの条件でも、変わらないシール性・操作性を維持。高い耐熱性・耐圧性・耐久性で、苛酷な環境も制します。

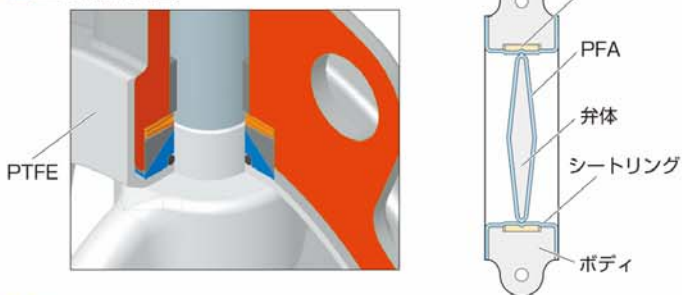
◆液漏れを防止する3重シール構造

ボディシールを弁体に圧着させる1次シール。Oリングによる2次シール。そしてテーパブッシュによる3次弁棒シール。3重のシール構造が、配管外へのシール漏れを完全にシャットアウトします。



テフロン®は三井・デュボンフロロケミカル社が製造する登録商標です。

■基本形状図



■適用分野と流体

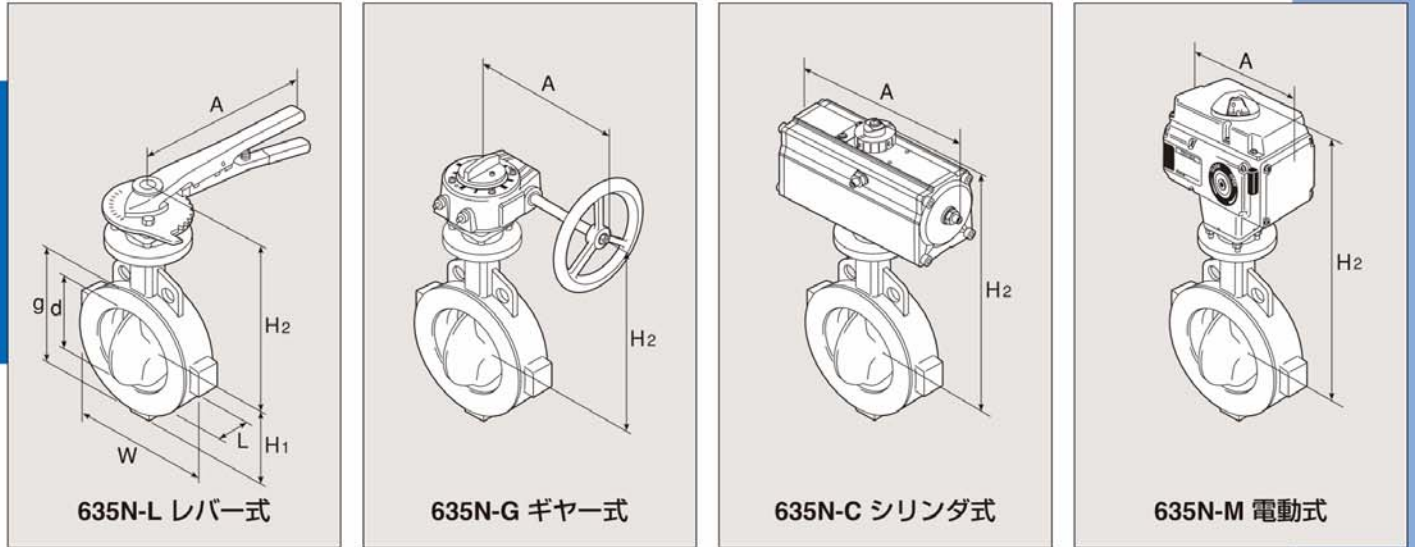
ケミカル工場	硫酸・硝酸・塩酸・酢酸・アルカリ・塩素水・燐酸・硝酸
食品工場	ビール・酒・調味料・チョコレート
薬品工場	ビタミン剤・塩化カルシウム
ガス工場	硫化水素・亜硫酸ガス・(乾・湿)
溶剤工場	メタノール・ベンゼン・キシレン・エチルアセテート・メチルエチルケトン

■標準仕様

バルブ呼び径範囲	50~300mm
適用フランジ規格	JIS 10K ASME 125/150Lb
最高使用圧力	液体 1.0MPa ガス 0.25MPa
使用温度範囲	-20℃~150℃
シート試験圧力	水 1.1MPa ガス 0.3MPa
ボディ試験圧力	1.5MPa
駆動部	レバー式、ギヤ式、エアーシリンダ式、電動式
面間寸法	JIS B2002 系列46
主要材質	ボディ：SCPH2 弁体：PFA+SCPH2 弁棒：S45C シートリング：PTFE
塗装仕様	エポキシ樹脂系 マンセルN6

635N

■寸法・質量表 サイズにより本体形状が異なります。



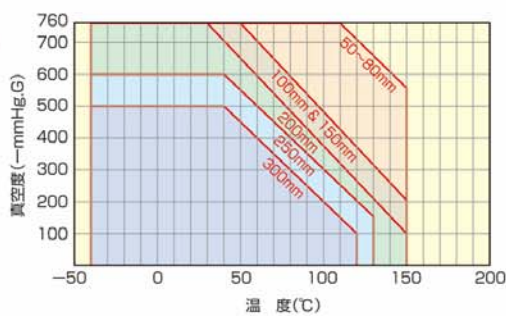
付属機器（ポジショナー、リミットスイッチ、電磁弁等）は別途ご相談ください。

(単位 寸法 mm、概算質量 kg)

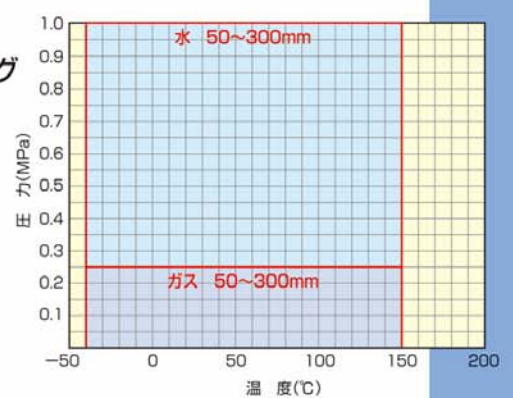
サイズ (mm)	L	d	g	H1	W	635N-L レバー式			635N-G ギャー式			635N-C シリンダ式			635N-M 電動式		
						H2	A	概算質量	H2	A	概算質量	H2	A	概算質量	H2	A	概算質量
50	43	59	100	60	142	192	160	4.1	186	141	5.7	257	179	4.9	328	180	7.9
65	43	59	100	60	142	192	160	4.1	186	141	5.7	257	179	4.9	328	180	7.9
80	46	79	135	86	150	234	200	6.2	225	141	7.7	312	223	7.9	418	277	16.4
100	52	99	160	112	174	254	260	8.9	236	182	11.1	322	223	10.2	428	277	18.7
125	56	124	185	130	202	278	360	11.8	251	182	12.7	370	271	14.1	443	277	20.3
150	56	149	213	145	231	315	360	15.9	289	211	18.7	403	271	17.5	480	277	24.3
200	60	196	265	175	280	—	—	—	317	211	25.3	459	355	28.2	529	301	34.0
250	68	249	322	215	344	—	—	—	388	255	41.0	552	445	44.0	590	301	44.0
300	78	299	370	251	392	—	—	—	423	255	50.0	587	445	54.0	634	345	64.0

※口径350mm以上については別途お問い合わせください。仕様が異なります。

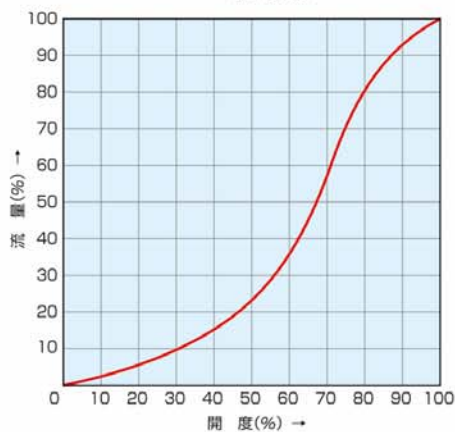
■真空使用 限界



■圧力・温度 レーティング



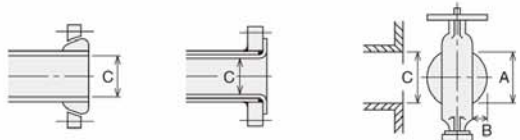
■流量特性 曲線



■全開 Cv値表

サイズ(mm)	全開 Cv 値
50	120
65	120
80	280
100	450
125	750
150	1250
200	2250
250	3600
300	5000

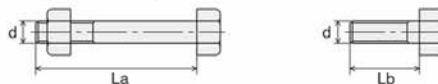
配管の許容最小内径 弁体が配管に当たらない様にご確認ください。



サイズ(mm)	A	B	C (許容最小内径)
50	42	9	47
65	42	9	47
80	66	18	70
100	85	25	90
125	112	35	117
150	139	48	144
200	187	69	192
250	237	90	242
300	290	112	295

注 上記の内径より小さい配管の場合はご相談ください。

配管ボルト寸法表 配管ボルトの表示は次のようにしています。



呼び径 (mm)	JIS 10K			
	本数	六角ボルト M × La	本数	六角ボルト M × Lb
50	4	M16 × 100 × 38	—	—
65	4	M16 × 110 × 38	—	—
80	8	M16 × 110 × 38	—	—
100	8	M16 × 120 × 38	—	—
125	8	M20 × 130 × 52	—	—
150	8	M20 × 130 × 52	—	—
200	12	M20 × 140 × 52	—	—
250	12	M22 × 150 × 56	—	—
300	16	M22 × 160 × 56	—	—

- ボルトの長さはJIS規格、鋼製フランジ厚みに適合します。
- ガスケットの厚みは3mmで計算しています。
- 六角ボルトは8割ナットを使用しています。

取扱注意事項

バルブの取り付け、ご使用に際しては、製品同梱の「汎用バタフライバルブ取扱注意書」を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

保管

- バルブの取り付け直前まで梱包された状態で、ホコリ・油・湿気などの少ない屋内に保管してください。また、長期に保管される場合は、-10℃以下の低温、40℃以上の高温、多湿、振動のある場所は避け、できるだけ冷暗所の屋内に保管してください。
- 弁体は全閉より少し開いた状態で梱包されていますので、その状態で保管してください。

配管施工

- 配管前にバルブの銘柄及びシールでサイズ、主要材質を確認の上、配管してください。
- バルブの取り付け方向性はありません。なお、配管時にはバルブ両側にはテフロン®ガスケットを使用される事を推奨致します。
- 粉塵、低・高温(-10℃以下・60℃以上)、凍結、降雪などの環境下でご使用される場合は弊社にお問い合わせください。
- 配管フランジの傷、歪みがなく、芯、平行度などバルブとのズレがないことを確認してください。また、バルブ取り付け前に、溶接スパッタ・パイプ切屑・砂利などの異物が付着しているときは、配管パイプ内・フランジ面の、清掃・ブラッシングを十分に行ってください。漏れの原因になります。
- 配管フランジの溶接後、すぐにバルブを取り付けしないでください。必ず温度が常温まで下がってから配管作業を行ってください。また、バルブ取り付け後に、フランジ溶接は行わないでください。溶接熱やスパッタでバルブ性能を低下させる危険性があります。
- バルブに使用しているPTFE・PFAは、大変傷つきやすく、バルブの品質・性能の劣化を防ぐ為、バルブ両側に固定されている保護板は、配管取り付け直前まで取り外さないでください。
- バルブの取り付け、あるいは取り外しされる場合、弁体は全閉より10°程開いた状態で行ってください。
- バルブを吊り下げる時には、バルブの首部にナイロンスリングなどを用いてください。駆動部・部品などでバルブを吊り下げないでください。バルブ損傷の原因となります。また、配管作業は、足場の安全を確保し、不安定な場所などでの作業は避け、十分な明るさの中で行ってください。

- 配管フランジの面間はバルブ面間より6~10mm程度ひろげた状態で、異物、フランジの傷が無い事を確認後挿入してください。無理やり押し込むことはしないでください。シート傷付け・作動不良の原因になります。
- フランジとバルブの芯出しは正確に行ってください。
- 配管ボルトを締め付ける前に、バルブ弁体を全開状態にし、配管内側に弁体が当たらないことを確認してください。
- 配管ボルトの締め付けは、均等な力で平均に締め付ける必要があります。対角線上のものから交互に均等な力で締め付けてください。また、過度に締め付けしないでください。漏れの原因になります。

運転

- 配管の耐圧試験をバルブ定格以上の圧力でされる場合は、バルブを閉止フランジの代用にせず、必ず弁体全開にして試験を行ってください。
- 手動式のバルブを開閉するために他の道具(例：ハンドル回し等)を使用して開閉しないでください。
- 定格以上の運転、取り扱い事故のもとになります。ご注意ください。
- 弁開度30°以下および真空仕様にてご使用の場合は弊社へお問い合わせください。
- バルブが長期間休止状態になる時、2~3週間に一度、点検を行ってください。
- アクチュエータやバルブに腐食性の液体がかかる場合には防護カバー等を取り付け、保護してください。
- アクチュエータに保温材を巻くのは避けてください。湿度により電装部品に故障が生じる恐れがあります。また、雨天時などの湿度の高い状態での電気配線作業は避けてください。
- 自動弁の取扱いは、十分な知識と経験を持った人が取り扱ってください。
- 弁の上流側に、ノズル、単孔オリフィス、コントロール弁等を設置される場合は、それらの後に発生する乱流の影響により弁が損傷する場合がありますので、配管径の3倍から5倍の直管距離をとってください。

保証範囲と免責範囲

上記保証期間中に弊側の責により故障を生じた場合は、その製品の故障部分の交換または修理を、その製品のご購入あるいは納入場所において無償で行わせていただきます。(日本国内に限る)
ただし、以下に該当する場合は、有償とさせていただきます。
●弊社のカタログ・取扱注意書または別途取り交わした仕様書などで確認された以外の、不適当な条件・環境・取扱い並びに使用の故障の場合。
●納入品の故障原因が弊社製品の瑕疵以外の事由による場合。
●弊社以外による改造または修理による故障の場合。
●弁類等の設計仕様条件として与えられなかった条件での使用または与えられた条件からは予知できなかった事象に起因する故障の場合。
●シートリング・グランドパッキン等が著しい摩耗・腐食・変形した場合。

- 良好でない消耗品(潤滑剤・パッキン等)を使用された場合。
 - 高頻度での開閉動作等の使用において不適切な保守・点検に起因する故障の場合。
 - 電源、空気源に起因する故障の場合。
 - 製品へのゴミ等異物の流入・噛込み等に起因する破損・故障の場合。
 - 野積み等不適切な製品の保管に起因する破損・故障の場合。
 - 火災、水害、地震、落石その他の天災地変に起因する破損・故障の場合。
 - その他弊社の責任と見なされないことに起因する破損・故障の場合。
 - バルブに使用しているPTFE、PFAは高分子材料であるため、液、ガスなどの浸透によるブリストア、変形及び強浸透液の場合、ストレスクラックの発生が避けられない事があります。
- ※尚、ここでいう保証は、納入品単体の保証とします。
納入品の故障により生じた損害は、ご容赦願います。

保証期間 弊社工場から出荷後18ヶ月以内、もしくは試運転開始後12ヶ月以内とし、いずれか早く終了する期間内とします。

**製造中止製品の
有償修理・部品供給**

製品は予告なく製造中止、改良を行うことがあります。製造、販売中止をした製品につきましては、中止後5年を経過した場合、その製品の提供、部品供給、修理等に応じかねる場合がありますのでご容赦願います。

●本仕様と設計は予告なく変更する場合がありますので、必ずお問い合わせください。

流体制御の明日を開く



株式会社オーケーエム

本社・工場
〒529-1608 滋賀県蒲生郡日野町大谷446-1
TEL(0748)52-2131(代) FAX(0748)52-8154
http://www.okm-net.co.jp/



- 東京支店
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-8-1 茅場町第五長岡ビル4F TEL(03)3667-1871 FAX(03)3667-1880
- 大阪支店
〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-9-1 肥後橋センタービル10F
国内営業部 TEL(06)6445-1223 FAX(06)6445-1333 海外営業課 TEL(06)6445-0501 FAX(06)6445-1333
- 名古屋営業所
〒464-0067 名古屋市千種区池下1-9-10 橋本ビル5F TEL(052)752-8831 FAX(052)752-8833
- 広島営業所
〒730-0051 広島市中区大手町3-8-1 大手町中央ビル3F TEL(082)246-7532 FAX(082)246-7597
- 福岡営業所
〒810-0072 福岡市中央区長浜2-4-1 東芝福岡ビル16F TEL(092)716-7090 FAX(092)716-7091

代理店